

アピアランスケア相談窓口

がん患者・家族サロン 予約不要 無料

- アピアランスケアコーナーの設置
- がんについての各種冊子やリーフレットでの情報提供
- ウィッグやケア用品、補正下着の見本展示



がん相談支援センター 予約不要 無料

- 脱毛ケアについての情報提供
(日常用品やケア帽子などの工夫)
- ウィッグの選び方、購入方法の案内
- 助成制度の説明
- 外見の変化に対する相談対応

さらに専門的な悩みや不安に

乳がん看護外来 要予約 保険適応

手術後の下着やリハビリなどの不安や困りごとに対して、乳がん看護認定看護師が一緒に考えお手伝いをさせていただきます。

アピアランスケア外来 要予約 保険適応

脱毛や皮膚・爪の変化や、様々な変化への専門的ケアが必要な場合は、担当看護師が対処方法を一緒に考え、お手伝いさせていただきます。

※受診を希望される場合は、受診中の診療科の医師・または看護師に希望をお伝えください。

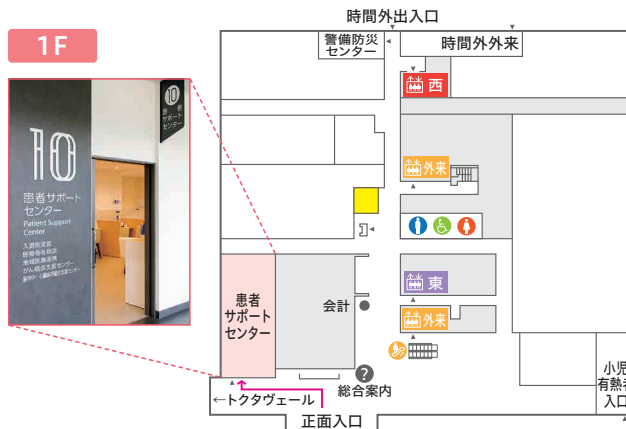
岩手医科大学附属病院に入院・通院の有無に関わらず、どなたでも相談できます。

がん患者・家族サロン 東エレベーター 2階 20番



電話 019-613-7111 (内線 3222)
平日 (月～金) 10:00～16:00
第1・第4土曜日は休室

がん相談支援センター 東1F 患者サポートセンター内



電話 019-611-8073 (直通)
平日 (月～金) 9:00～16:00
第1・第4土曜日 9:00～12:00

サポートセンターにつきましたら、発券機から番号札をおとりになり、お待ちください

がん治療による外見の変化

アピアランスケアのご案内

これから
がん治療をはじめる
あなたへ

がん治療中の
あなたへ

がん治療を
終えたあなたへ



岩手医科大学附属病院
アピアランスケア
appearance care

アピアランスケアの扉を開いてみませんか。

がん治療に伴う外見（アピアランス）の変化って...
気持ちの辛さって...

「これからどう変化するの」

「以前の自分と違う」

「他人からどう見られているか気になる」

「治療をするのが辛い」「気持ちが元氣になれない」

「以前のように社会に出て行けるだろうか」

「治療は終わったけど、以前のように戻るのだろうか」
など、

がん治療による外見の変化に伴う、気持ちや身体の辛さはさまざまです。

変化があっても、そのまままで過ごせるという方もいらっしゃるし、どうにかカバーして外に出たいと思う方、どうしても気持ちが外に向かないという方まで、こうすれば解決するという決まった方法はありません。

私たちは、患者さんお一人お一人にとってより良い方法を一緒に考え、気持ちの変化に寄り添いながらケアさせていただいております。

治療のどのタイミングでも構いませんので、
どうぞ、アピアランスケアの扉を開いてみませんか。

※アピアランス (appearance) は「外観や人の容貌」を意味する言葉です。単なるケア用品をお勧めしたり、お手入れのテクニックをお伝えするだけのサポートではありません。患者さんひとりひとりの「思い」に寄り添い、「その人自身が自分らしく社会とつながり生活できるように支える」ケアのことです。

こんなときご相談ください



がん治療を始めるにあたり

- 「髪が抜けます」と言われた
- 「眉毛・まつ毛が抜けます」と言われた
- 「肌に影響がでます」と言われた
- 「爪に影響がでます」と言われた

➡ ケアの方法をいろいろ
お教えいたします。



頭頸部の手術を受ける方へ

顔や首に大きく傷が残ると
言われ悩んでいたら

➡ 対処方法について
いっしょに話して
みましょう。



乳がんの手術を受ける方へ

術後の見た目を整えたい

➡ 乳がんの術式・時期に応じた
下着・パットの選び方を
お教えいたします。



ウィッグの準備を検討している方へ

- ウィッグを買いたいと思ったら
- ウィッグ購入費助成事業について
知りたい

➡ ウィッグの見本があります。
見に来ませんか。

